

防府市高齢者保健福祉推進会議 会議録

令和 7 年 7 月 2 4 日（木）午後 2 時～ 3 時 3 4 分

場所：防府市役所本館 共用会議室 2 A

審議事項

（１）地域密着型サービス事業所の指定について

事務局より資料 1-1 に沿って説明

新規指定について承認。

（２）地域密着型介護保険施設の整備予定について

事務局より資料 1-2 に沿って説明

公募による施設整備 2 事業所について説明。また公募以外の定期巡回 2 事業所、認知症対応型通所介護の新規参入について審議。

A 委員 指定事業所の事務所が入る予定の施設の建物が大きいようだが自治会などへの説明会は開催されたのか。地域住民との関係はどうなのか。

事務局 建物の建設については管轄外のため状況は把握していない。

B 委員 地域住民を集めた説明会が開催されたと聞いている。

A 委員 了解した。

新規参入について承認。

報告事項

（１）地域密着型サービス事業所の指定更新について

事務局より資料 1-3 に沿って説明

前回会議以降の指定更新 7 事業所の概要を説明

（２）防府市高齢者保健福祉計画（第 10 次計画）の進捗状況について

事務局より資料 2 に沿って説明

C 委員 介護予防教室の実績が目標を下回っているが、令和 7 年・8 年の計画値は達成されていないのに更に上がっている。目標値の修正は検討するのか。

事務局 今後検討する可能性がある。変更の場合は会議で審議いただく。

D 委員 地域包括支援センターの役割は今後ますます重要になる。認知症施策推進のための人員確保が課題であるが、人員の確保は共通の課題になっていると思う。介護施設等でも同様の課題がある。市として

- 人材確保の見解を伺う。
- 事務局 今年度は各センターに認知症地域推進員を 1 名ずつ兼務で配置し門研修も実施している。現状は兼務体制だが、増員も含めて検討中であり、具体的な時期は未定。
- D 委員 人員を増加するのではなく兼務では、現状業務が増加し対応できていないなかで事業推進の効果があるとは思えない。人員を補充する何らかの対策を考えるべきではないか。
- 事務局 人員の補充は急には難しく今は兼務ということで委託包括にお願いしている。その中で認知症については包括支援センターの方もいろんな研修を受講したうえで対応していただいている。具体的な時期は現時点では言えないものの増加を含めて検討している。
- D 委員 今後も同様の課題が続かないよう事務局にはしっかりとした対応を求める
- A 委員 高齢化率が進んでいる。今後も進んでいくと思う。単に高齢化率だけでなく、高齢者の動向を詳細に分析する必要がある。詳細の部分も調査する必要があると自分は感じているので意見として申し上げたい。
- E 委員 処遇困難ケースの増加理由の分析は行っているか。
- 事務局 分析はしていない。ケース会議では、経済困窮だとか、身寄りがない方のケースが増加している。
- B 委員 認知症施策の実績が計画より下回っている現状が指摘された。この課題は前回の会議でも質問があり、本格的に取り組まなければならないと考える。地域ごとに課題が異なるため、今後の計画策定に向けて市だけでなく、医師会や各種介護施設など関係団体との意見交換の場を設けることが必要ではないか。特に、コロナ禍で中断していた、認知症に関する議論を行う「はあとふるねっと」のような関係団体が出席する会議やワーキンググループの再開が必要と思うので意見として申し上げる。

(3) 地域包括支援センターの運営状況について

事務局より資料 3 に沿って説明

市内各包括から令和 6 年度実績報告と令和 7 年度実施事業の説明を行った。